

多用途 透明複模型用シリコーン印象材／咬合採得用材料

EZ-COPY クリアマトリックス

取扱説明書



特徴

本品は、透明な複模型用シリコーン印象材／咬合採得用材料です。

下記の用途に使用できます。

- モックアップ（プロビジョナルレストレーション）作成に
- インダイレクトボンディングシステム（間接ブラケット接着）に
- 咬合採得に

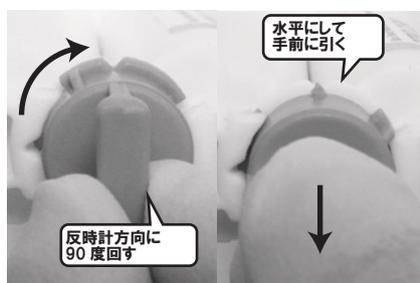
物理的特性

	石膏模型上	口腔内	シヨアA硬さ	60 ± 2°
操作時間	2分	1分	寸法変化	< 0.7%
硬化時間	4分	3分		

本品の使用前準備 および 使用後の保管方法



本品をカートリッジディスペンサー（カートリッジガン）に、カートリッジディスペンサー製造者の指示に従い、装着します。



本品のキャップを反時計方向に止まるまで（90度）回し、水平にして手前に引いてキャップを外します。
※キャップは処分せず、使用後にカートリッジキャップとして使用します。



約6～7mmの長さでミキシングパッド等に押し出し、一様に押し出されることを確認します。確認後は、これを処分し、本品の溢出口を拭き、清掃します。



ミキシングチップのカートリッジ取付部辺縁周囲にあるV字の切れ込みを、カートリッジのV字切れ込みに合わせ、無理のない様な力で挿入し、時計方向に90度回転させ、装着固定します。抜けないことを確認します。



使用後はミキシングチップをカートリッジキャップに替え、確実に閉めて、直射日光、高温多湿を避け20～25℃の暗所に保管してください。

複模型の作成に用いる場合

印象用トレーは、本品の厚み分（2～3mm）のスペースを確保できるサイズを選択いただけますが、製作してください。
本品に合わせ、重合用照射光が透過するトレーをおすすめします。
必要な場合には、トレー用接着材を、製造者の指示に準じ、トレーに塗布してください。



1. 本品をトレーに盛ります。
（操作時間は2分）。

※本品に粘性を持たせたい場合は、本品をトレーに注入後、20～60秒間保持させてから、トレーを模型に圧接してください。

2. トレーを模型に圧接します。
4分後に、トレー（本品）を外し、印象を水洗、乾燥させます。

モックアップ（プロビジョナルレストレーション）使用例 モックアップ用光重合型フロアブルレジン「リビール」と併用する場合

口腔外準備



1. 術前。



2. 診断用ワックスアップ模型を作成します。



3. 既製透明トレーもしくは個人トレーに、本品を注入します。



4. 本品を注入したトレーを診断用模型を正確に適合させます。



5. 硬化するまで保持します。



6. 本品による印象面。余剰の本品をトリムし除去します。

口腔内作業



1. 暫間期間に応じて、スポットエッチングします。



2. 接着部位以外および歯肉縁等に分離材を適用します。
接着部位に接着材の製造業者の指示に従って、接着処理を行います。



3. リビールを、本品に注入します。



4. リビールを注入したトレーを口腔内の正確な位置に適用し、リビールを各歯面あたり各20秒間光照射します。

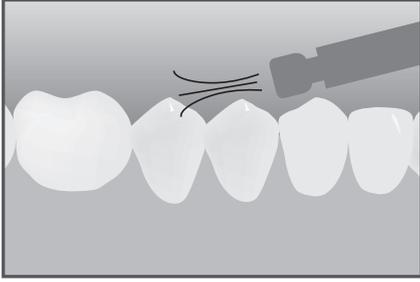


5. トレー撤去後。形態修正および研磨します。

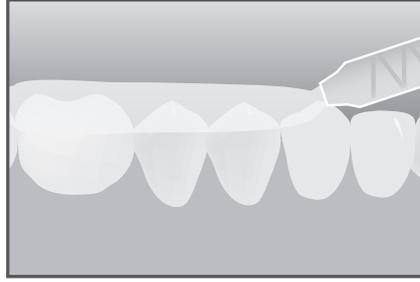


6. 術後。

咬合採得する場合



1. 歯牙の咬合面を乾燥させます。

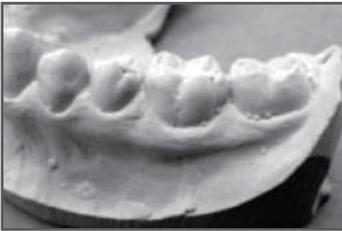


2. ミキシングチップ先端を咬合面に配置し、咬合採得に必要な量を直接下顎歯の咬合面上に盛り付け(作業時間は1分)、咬合させます。

3. 硬化(硬化時間は3分)後、口腔内より取り出し、印象を水洗、乾燥させます。

4. 必要に応じて、余剰部分をトリミングします。

インダイレクトボンディング(間接ブラケット接着)に使用する場合 EZ-COPY クリアマトリックスのみを使用する場合



1. 石膏模型を作成します。



2. 石膏模型上にブラケット配置用の基準線(長軸)を記入します。



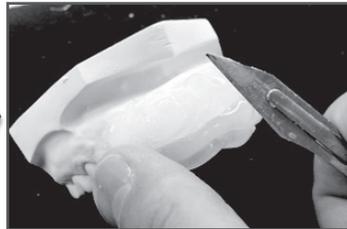
3. 石膏模型上の垂直高さを測定し、基準線を記入します。



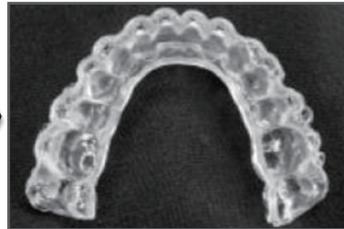
4. ブラケットを正確な位置に仮着します。



5. 石膏模型上にクリアマトリックスを注入し、トランスファートレーを作製します。



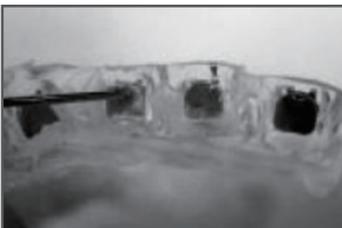
6. クリアマトリックスの硬化後、余剰部分をトリミングし、石膏模型からクリアマトリックスを外します。



7. クリアマトリックス内にブラケットが収まっていることを確認し、余剰部分をトリミングします。



8. ブラケットの接着面を清掃します。



9. ブラケットの接着面に光重合型矯正用接着材を塗布します。



10. 歯面清掃後、光重合型矯正用接着材の製造者の指示に従って接着面を接着処理します。



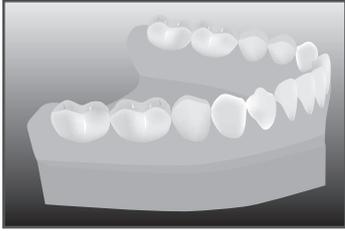
11. トランスファートレーを歯牙にセットします。



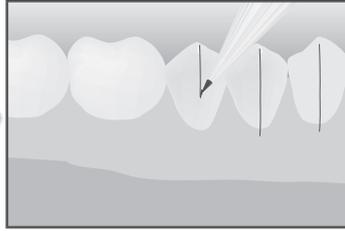
12. 光重合型矯正用接着材を光重合します。トランスファートレーを外し、余剰の光重合型矯正用接着材を除去します。

インダイレクトボンディング（間接ブラケット接着）に用いる場合 EZ-COPY クリアマトリックス および 吸引加圧成型用シートを併用する場合

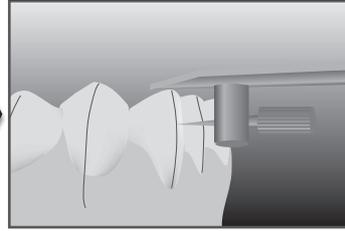
- 吸引加圧成型用シートを用いて間接ブラケット接着用トランスファートレーを作製する前に、石膏模型上に仮着したブラケット周辺をクリアマトリックスでブロックアウトすることにより、トランスファートレーの作製後に石膏模型からトランスファートレー取り外す際に、クリアマトリックス内にブラケットが収まり、容易に取り外すことができます。
- トランスファートレーを歯牙にセット後、トランスファートレー上から光照射を行うことができます。
- ブラケット接着後、クリアマトリックスを容易に取り外すことができます。



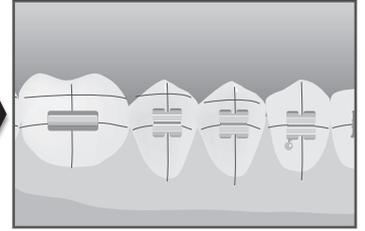
1. 石膏模型を作製します。



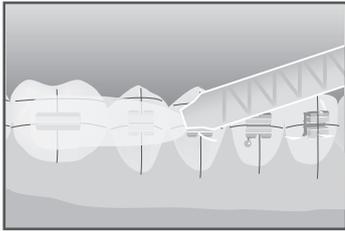
2. 石膏模型上にブラケット配置用の基準線(長軸)を記入します。



3. 石膏模型上の垂直高さを測定し、基準線を記入します。



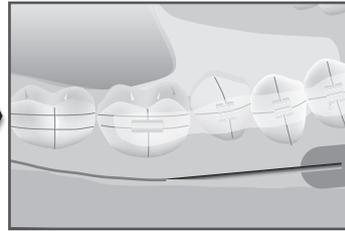
4. ブラケットを正確な位置に仮着します。



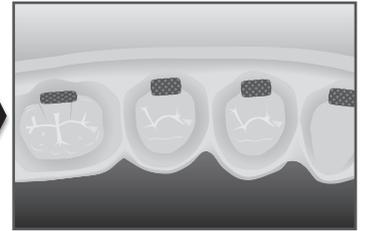
5. 本品でブラケットと歯面を覆い、ブロックアウトします。



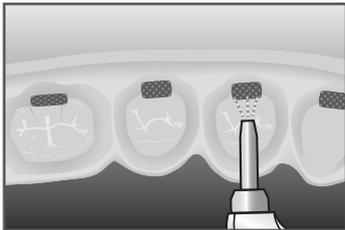
6. 通法に従って、吸引加圧成型用シートを用いて、バキュームアダプタ等でトランスファートレーを作製します。



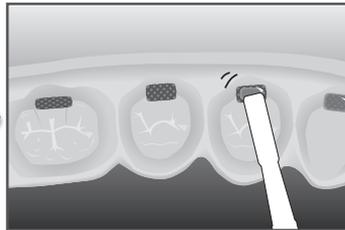
7. トランスファートレーをトリミングし、トレーを模型から外します。



8. トレー内に本品とブラケットとが収まっていることを確認します。



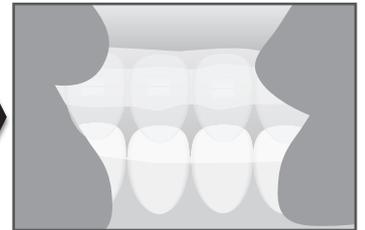
9. 必要に応じて、ブラケットの接着面をサンドブラスト処理します。



10. ブラケットの接着面に光重合型矯正用接着材を塗布します。



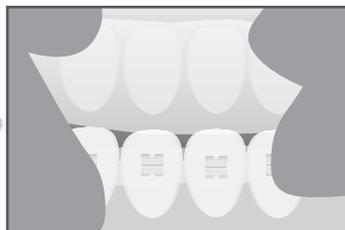
11. 歯面清掃後、光重合型矯正用接着材の製造者の指示に従って接着面を接着処理します。



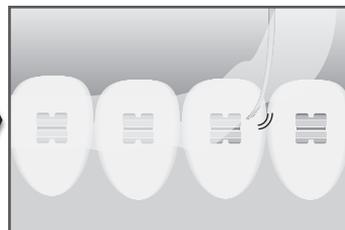
12. トランスファートレーを歯牙にセットします。



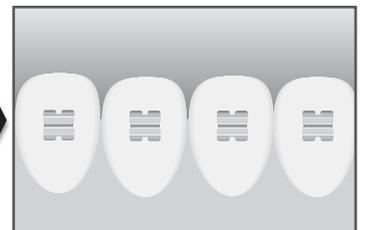
13. 光重合型矯正用接着材を光重合します。



14. トランスファートレーを外します。



15. 本品を外し、余剰の光重合型矯正用接着材を除去します。



16. ブラケット接着後。

併用する医療機器の使用方法につきましては、各製品の医療機器添付文書に従ってください。

一般医療機器 一般名称: 歯科複模型用ゴム質弾性印象材料、歯科咬合採得用材料 医療機器届出番号: 13B2X10359120002